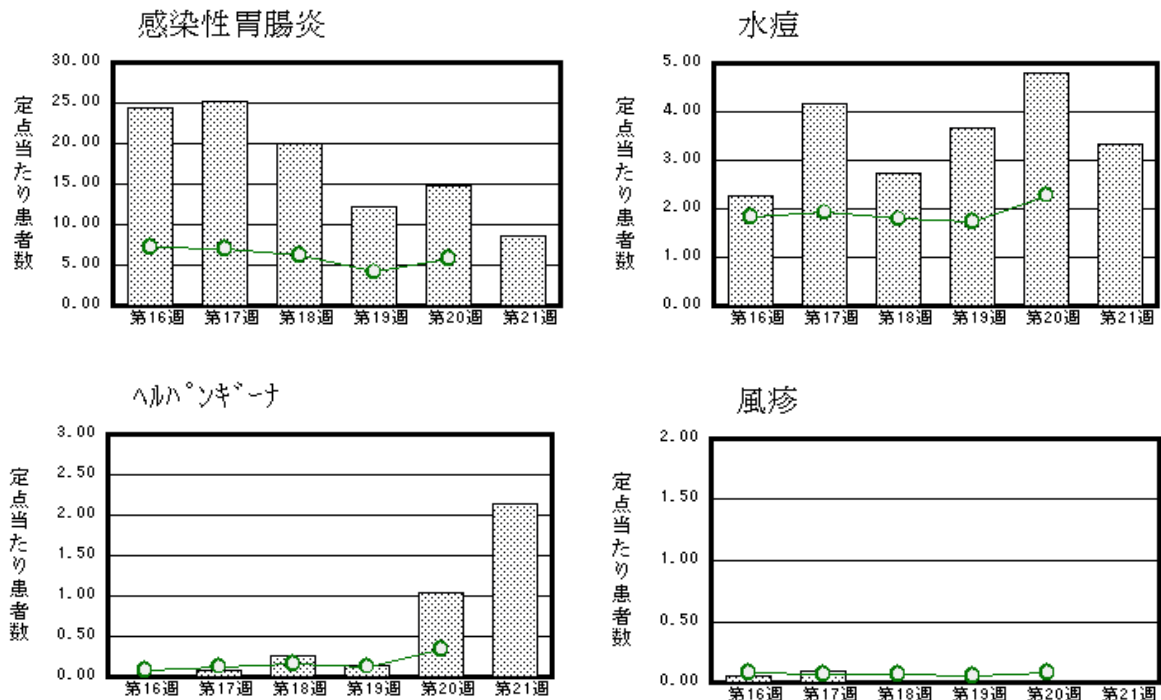


福井県感染症発生動向調査速報 <<平成16年>>

発行日：平成16年5月25日
 <週報> 第21週 (平成16年5月17日～5月23日) 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎202名(9.62名) 水痘75名(3.57名) ヘルパンギーナ45名(2.14名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 42名(2.0名) 咽頭結膜熱23名(1.10名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(202名) 水痘(75名) ヘルパンギーナ(45名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(42名) 咽頭結膜熱(23名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は202名です。定点あたり患者報告数は減少しました。(14.90名 9.62名)地域別にみると福井地区18.7名、丹南地区9.6名、坂井地区は8.0名となっています。
4. 【水痘】報告数は75名です。定点あたり患者報告数は減少しました。(4.81名 3.57名)。奥越地区で定点あたり6.5名と県内トップとなっており、続く丹南地区5.0名、福井地区3.8名となっています。
5. 【ヘルパンギーナ】報告数は45名です。定点あたり患者報告数は増加しました。(1.05名 2.14名)丹南地区で定点あたり5.8名、奥越地区で3.0名、二州地区で2.3名となっています。
6. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は42名です。定点あたり患者報告数は減少しました。(2.76名 2.0名)。奥越地区5.0名、福井地区2.5名、丹南地区2.0名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第18・19週号(4月26日～5月9日)要点

発生動向総覧	<第18週>手足口病・ヘルパンギーナ-定点あたり報告数は微増した<第19週>咽頭結膜熱・風しん-定点あたり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い
注目すべき感染症	<今週はお休みです>
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年/咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2004年/流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス 2004年/インフルエンザウイルス 2004年第15週(4/5～)以降
速報	群馬県における風しんの流行状況とその対策/エコーウイルス16型の分離状況-宮崎県
海外感染症情報	インドネシアでのデング熱流行-更新4/ブルキナファソでの黄熱流行/ポリオ根絶にむけた進捗-ナイジェリア 2003年1月～2004年3月
感染症の話	<今週はお休みさせていただきます>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

1類感染症:報告はありませんでした。
 2類感染症:報告はありませんでした。
 3類感染症:報告はありませんでした。
 4類感染症:報告はありませんでした。
 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第21週 平成16年5月17日(月)~平成16年5月23日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(20週)
インフルエンザ (31)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)									464 0.10
小児科 (21)	RSウイルス感染症									17 (19週)
	咽頭結膜熱	8 1.33	3 1.00		1 0.5	4 2	7 1.4	23 1.10	17 0.81	1177 0.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 2.50	1 0.33	5 1.67	1 0.5	10 5	10 2	42 2.00	58 2.76	6158 2.02
	感染性胃腸炎	112 18.67	24 8.00	11 3.67	3 1.5	4 2	48 9.6	202 9.62	313 14.9	17506 5.75
	水痘	23 3.83	3 1.00	6 2	5 2.5	13 6.5	25 5	75 3.57	101 4.81	6930 2.28
	手足口病	6 1.00					1 0.2	7 0.33	2 0.1	394 0.13
	伝染性紅斑	5 0.83				2 1	10 2	17 0.81	13 0.62	1572 0.52
	突発性発しん	4 0.67		1 0.33		4 2	5 1	14 0.67	18 0.86	2236 0.73
	百日咳	1 0.17						1 0.05		55 0.02
	風しん									243 0.08
	ヘルパンギーナ	1 0.17	2 0.67	7 2.33		6 3	29 5.8	45 2.14	22 1.05	1039 0.34
	麻しん(成人麻しんを除く)									75 0.02
流行性耳下腺炎	4 0.67		6 2				10 0.48	11 0.52	2288 0.75	
眼科 (2)	急性出血性結膜炎									14 0.02
	流行性角結膜炎						1 1	1 0.50	1 0.33	612 0.96
基幹 (5)	細菌性髄膜炎									6 0.01
	無菌性髄膜炎								1 0.17	12 0.03
	マイコプラズマ肺炎									83 0.18
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									2 0.00
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第18・19週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第21週 平成16年5月17日(月)～平成16年5月23日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				6	6									6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				13	7			12			2			12ヶ月未満								
1歳		1歳		5		24	19	2	3	2			18	3		1歳								
2歳		2歳		3	1	22	12	2	2		1		12	2		2歳								
3歳		3歳		3	9	27	11	2	3				8	1		3歳								
4歳		4歳		3	6	18	8		2				2	2		4歳								
5歳		5歳		5	9	15	4	1	3				2	1		5歳								
6歳		6歳		2	7	9	4						1			6歳								
7歳		7歳			1	12								1		7歳								
8歳		8歳			3	8										8歳								
9歳		9歳			2	9			2							9歳								
10～14歳		10～14歳		2	4	33	3		1							10～14歳								
15～19歳		15～19歳				3	1									15～19歳								
20～29歳		20歳以上				3			1							20～29歳								
30～39歳																30～39歳		1						
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計	0	23	42	202	75	7	17	14	1		45	10		合計		1						
前期計		前期計	0	17	58	313	101	2	13	18			22	11		前期計		1			1			
当期間/前期	***	当期間/前期		1.35	0.72	0.65	0.74	3.5	1.31	0.78	***	***	2.05	***	0.91	当期間/前期	***	1	***	0	***	***	***	***
増減数		増減数		6	-16	-111	-26	5	4	-4	1		23	-1		増減数					-1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

